

にいがた摂食嚥下障害サポート研究会・新潟県摂食嚥下機能評価コンソーシアム主催講演会
共催：新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔生命科学専攻・口腔生命福祉学専攻
後援：一般社団法人新潟県歯科医師会，一般社団法人新潟県歯科衛生士会，一般社団法人新潟県言語聴覚士会，公益社団法人新潟県薬剤師会

テーマ 時代に対応した摂食嚥下障害への対応 ～新潟から日本，そしてアジアへ～

日時 平成 29 年 12 月 3 日（日）午前 10 時 00 分～午後 5 時 10 分

場所 新潟医療人育成センター

参加者数 112 名（会員 77 名，非会員 33 名，学生 2 名）

参加企業 15 社

タイムスケジュール

10:00-10:10 開会あいさつ

秋元幸平氏（にいがた摂食嚥下障害サポート研究会 会長）

10:10-12:00 セッション1 地域における摂食嚥下リハビリテーション

座長 辻村恭憲先生（新潟大学摂食嚥下リハビリテーション学分野 准教授）

10:10-10:50 講演1 Challenge of Silver Tsunami in Taiwan

講師 Allen Ming-Lun Hsu 先生（台湾陽明大学 歯学部長）

10:50-11:50 講演2 熊本地域の摂食嚥下リハビリテーションおよび熊本地震での食べる支援

講師 前田圭介先生（愛知医科大学病院 緩和ケアセンター）

11:50-12:50 講演3 独歩リハビリ（DOPPO）からみた咀嚼・嚥下障害

講師 和泉 徹先生（恒仁会新潟南病院 統括顧問／北里大学名誉教授）

12:50-13:40 ランチョンセミナー

講演 食べること，飲み込むことの大切さを体験しよう

講師 伊藤加代子先生（新潟大学医歯学総合病院口腔リハビリテーション科 病院講師）

13:40-14:40 セッション2 時代に対応した新たな介護食の展開

座長 渡邊賢礼先生（新潟大学摂食嚥下リハビリテーション学分野 助教）

13:40-14:10 講演1 介護食の新たな時代へ向けて

講師 井上 誠先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科 教授）

14:10-14:40 講演2 企業が目指す介護食について

講師 別府 茂先生（ホリカフーズ(株) 取締役執行役員）

14:40-15:00 休憩 企業展示

15:00-16:30 セッション3 現場に求められる摂食嚥下リハビリテーション

座長 真柄 仁先生（新潟大学医歯学総合病院 摂食嚥下機能回復部 講師）

15:00-15:45 講演1 病院歯科における摂食嚥下リハビリテーション

講師 齋島桂子先生（浜松医療センター 歯科口腔外科 歯科医師）

15:45-16:30 講演2 認知症高齢者の摂食嚥下リハビリテーション

講師 山田律子先生（北海道医療大学看護福祉学部 教授）

16:30-17:00 総合討論

座長 井上 誠先生（新潟大学摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授）

17:00-17:10 閉会あいさつ

井上 誠先生（新潟大学摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授）

概要

本講演会では「時代に対応した摂食嚥下障害への対応 ～新潟から日本、そしてアジアへ～」をテーマとした7名の講師による講演、ランチョンセミナーが行われた。

「セッション1地域における摂食嚥下リハビリテーション」では、台湾、熊本、新潟という地でのそれぞれをテーマとした講演がなされた。台湾陽明大学歯学部長のAllen先生は、高齢者率が10%を超えた台湾ではこれから急速に高齢化の波が押し寄せる中で、歯学部として口腔機能や摂食嚥下機能を支える歯科医の養成と歯科医療のパラダイムシフトの必要性、食を支える様々な取り組みが必要であることを強調された。愛知医科大学の前田圭介先生は、前任地の熊本において被災した経験から、災害弱者である要介護高齢者はいち早い支援が必要であること、病院や行政の枠を超えた独自の取り組み、その中でKTチャートを取り入れた情報整理の有用性について、巧みな語り口で解説された。新潟南病院の和泉徹先生は、専門の循環器内科としての立場から、高齢者の健康を守るための歩行リハを中心としたDOPPOプロジェクトのデータを示され、近年歯科とともにはじめたDOPPOENGEプロジェクトの中で、摂食嚥下機能にも目を向けること、真に支援が必要な患者を見つけ出すための方略についてのヒントをいただいた。

ランチョンセミナーをはさんで、午後は「セッション2時代に対応した新たな介護食の展開から」と題して、介護食を考えることをテーマとした講演からスタートした。新潟大学の井上誠先生は、これまでの介護食の概念である「軟らかい」「まとまりのよい」「べとつかない」という形態やその評価数値のみでは、すべての要介護高齢者、摂食嚥下障害者の食のQOLを維持することが困難であり、これからの介護食開発のキーワードは咀嚼であることを、症例を呈示しながら解説された。ホリカフーズ株式会社の別府茂先生は、今日にいたるまでの介護食の変遷、介護食市場についての説明があり、真に介護食を必要とされる患者に対しての支援が足りていないこと、機能評価が十分でないことなど多くの課題が提供された。

最後の「セッション3現場に求められる摂食嚥下リハビリテーション」では、病院歯科で活躍されている浜松医療センターの齧島桂子先生と、認知症の食支援をテーマとした臨床・研究を推進している北海道医療大学の山田律子先生が講演された。浜松医療センターでの小児・成人の摂食嚥下障害部門の立ちあげから、地域との連携の中で多くのアイデアと工夫もさることながら、それを実践するために必要なバイタリティを齧島先生に感じた。山田先生のご講演では、アルツハイマー、レビー小体型など認知症別に病状を整理することで、効果的・効率的な支援が可能であることを、症例を交えながら解説された。

全体討論では、病院歯科の取り組み、歯科医師会との連携、地域連携の困難さなど、日頃私たちが感じているテーマがそのまま議論の遡上にあげられ、活潑な意見交換がみられた。

休憩時間には、企業展示会場にて活発な情報交換が行われた。

参加者によるアンケート結果 (有効回答数69名 回答率61.6%)

1. 参加者の性別

- ①男性 27名
- ②女性 42名

2. 参加者の年齢層

- ①10歳代 2名
- ②20歳代 12名
- ③30歳代 11名
- ④40歳代 17名
- ⑤50歳代 21名
- ⑥60歳代 5名
- ⑦無回答 1名

3. 参加者の職業

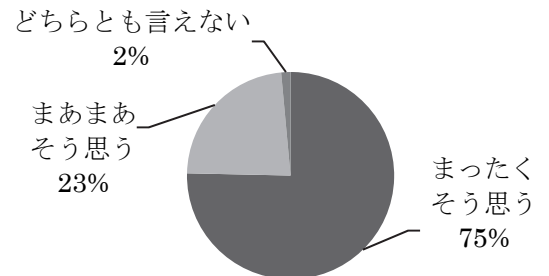
- ①学生 5名
- ②医療関係者 56名

内訳：医師 2名，歯科医師 16名，歯科衛生士 11名，看護師 9名，言語聴覚士 11名，理学療法士 1名，作業療法士 1名，管理栄養士 2名，無回答 3名

- ③会社員・公務員 7名
- ④その他 1名

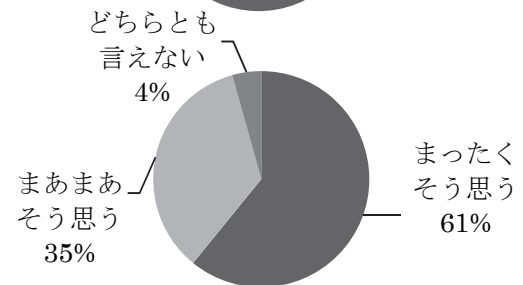
4. 今回の講演会は有意義なものでしたか

- ①まったくそう思う 52名
- ②まあまあそう思う 16名
- ③どちらとも言えない 1名
- ④あまりそう思わない 0名
- ⑤全くそう思わない 0名



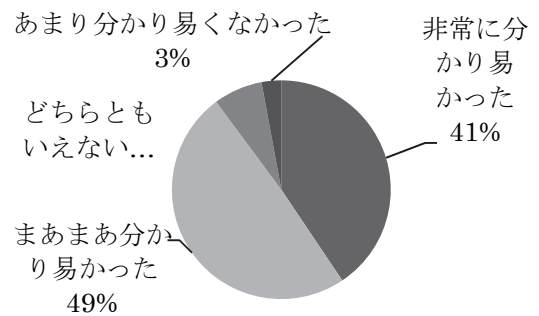
5. 今回の講演会はあなたの興味に対して適切でしたか

- ①まったくそう思う 42名
- ②まあまあそう思う 24名
- ③どちらとも言えない 3名
- ④あまりそう思わない 0名
- ⑤全くそう思わない 0名



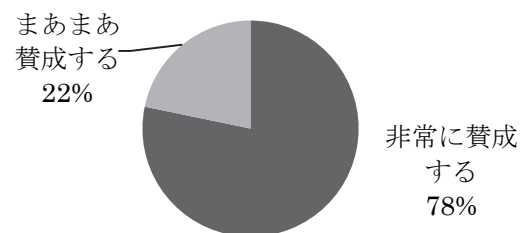
6. 講演内容の難易をどう感じましたか

- ①非常に分かり易い 28名
- ②まあまあ分かり易い 34名
- ③どちらとも言えない 5名
- ④あまり分かり易くない 2名
- ⑤全く分からない 0名



7. 今後このような主旨の講演会を開催することについては

- ①非常に賛成する 54名
- ②まあまあ賛成する 15名
- ③どちらともいえない 0名
- ④あまり賛成しない 0名
- ⑤まったく賛成しない 0名



8. その他の意見

- ・来年は講演会が土曜日に開催されますが、仕事の関係で今までのように日曜日に開催してもらいたい。
- ・食の養生訓等の知識を得たい。
- ・多面的支援のスキル，食事摂取介助方法，口腔ケア（開口困難、乾燥著明などトラブルがある場合）の援助技術など，現場ですぐ活用できる講演を希望する。
- ・様々な分野の先生方の講演を聞くことができ，とても有意義だった。今後とも企画をよろしくお願いいたします。
- ・講演内容はとても面白かった。お弁当があるというメールを見逃していた。分かり易いところにお弁当がある旨が書いてあると良かったと思う。2階のブースに行く時間が少なかった。タイムスケジュールにもう少し余裕があるといいかと思った。
- ・今回は（部外者にとって）ちょっと専門用語が多かったなあ～。
- ・とても勉強になり有意義でした。ありがとうございました。
- ・今問題とされている話題が網羅されていた。とても勉強になりました。新潟でこんなに充実し，他県や国を超えた先生方の講義をしていただけてよかったです。しかも無料でとてもありがたかったです。
- ・英語がわからなかったため，アレン先生の質疑応答は通訳してほしい。
- ・市井の開業歯科医の取り組み方が知りたい（病院・大学以外の臨床医意見が知りたい）
- ・会場が素晴らしい。サポート研究会を常にここで開催するのは難しいのですか？
- ・医療職の参加が多かったのもう少し介護の方なども参加できるものになるとなおいと感じています。大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・講師の先生方が話し上手で「人に伝える」ことも勉強になりました。特にアレン先生，英語の講演で，はじめて寝ないで聞きとおせました。とてもボリュームがあり，頭の整理がつきませんが，参加してよかったです。
- ・スケジュールがタイト。もう少しゆったりしていただけると良い。内容はとても興味深いものばかりだった。



新潟医療人育成センター



秋元会長 開会挨拶



Allen Ming-Lun Hsu 先生



前田圭介先生



和泉 徹先生



座長 辻村恭憲先生



伊藤加代子先生



井上 誠先生



別府 茂先生



座長 渡邊賢礼先生



齋島桂子先生



山田律子先生



質疑応答



企業展示会場



集合写真